

第23回

'12選抜女子駅伝
北九州大会

- 期 日 / 2012年1月22日 (日)
- コース / 小倉北区・小倉城歴史の道—
八幡西区・ホテルクラウンパレス北九州
折り返し 32.8km

一般の部 5 区間 高校の部 6 区間



5区で先頭に立つ天満屋のアンカー・小原怜 (左)

一般の部

雨をはねのけて天満屋2年ぶり頂点返り咲き

冷たい雨が降る中で天満屋が底力をみせつけて2年ぶり4回目の優勝を果たした。3区を終えて先頭から51秒差をつけられ3位と出遅れたが、4区の坂本直子が力走。強い雨をはねのけるようにダイグイと前を追い、先頭を走る九電工との差を16秒差まで詰めチームの勢いを取り戻した。タスキを受けた5区の小原怜は区間賞の走りを披露し逆転した。

宮内宏子、洋子の姉妹が好走した京セラは2位に入り、8年ぶりの入賞。九電工は陣内綾子、チェビエゴの1、2区で抜け出すと、3年目で初レースの小田彩古が3区4位の走り、1年目の宮崎悠香も4区で区間3位と健闘するなどして3位に食い込んだ。

坂本直子・天満屋4区「こんなに練習を消化できたのは8年ぶり。やっと普通にマラソンを走れる」

武富豊・天満屋監督「かなりの差があったのでちょっと不安だった」

長渡憲司・京セラコーチ「底上げが課題。うちには劣勢をはね返す力がない。宮内姉妹に続く3人目、4人目が出てくれないと」

高校の部

実業団に肉薄 立命館宇治が独走で連覇

全員が区間3位以上をマークしての独走劇を展開した立命館宇治が連覇を達成した。区間賞を獲得した3区のエース・菅野七虹は起伏が激しい難コースで積極的な走りをみせ、2km付近で天満屋を抜き去り、先頭の九電工にも追った。タイムは実業団を含む全選手の中でトップだった。アンカーの池内彩乃も力強さを発揮し、右人さし指を高々と掲げてゴールテープを切った。

序盤出遅れた神村学園は3区以降で着実に盛り返し、4位でタスキを受け取ったアンカー・安富美希も順位を二つ押し上げ2位に入った。1区で8位とやや出遅れた筑紫女学園は5区の園田聖子が区間賞を獲得するなど安定した走りで、4年ぶりの3位に食い込んだ。

菅野七虹・立命館宇治5区「実業団にも勝ち、全体で最初にゴールしたかった」

萩野由信・立命館宇治監督「もっと粘れば(実業団の)天満屋にここまでやられなかった。その辺が弱さ」

有川哲蔵・神村学園監督「都大路では力を出し切れなかったが、今季最終戦は良い形で締めくくれた。気持ちよく新しいチームにチェンジできる」

岩元雅輝・筑紫女学園監督「全国の強いチームの中で3位は価値がある。全体的に粘り強いレースができた」



1位でフィニッシュする立命館宇治のアンカー・池内彩乃